

## 夕陽會報



函館ハリストス正教会

第235号



◇ 巻頭言 ◇

## 四年ぶりの大懇親会を終えてのお礼

会長 風間和夫

(昭和57年卒)

今年五月に新型コロナウイルス感染症が二類相当から五類に引き下げられ、それに伴い夕陽会事務局をはじめ、役員の方々と今年度の総会・大懇親会の開催について慎重に検討を重ねました。結果として去る七月一日、四年ぶりにホテルでの開催を決定し、過日無事終了したことは皆様の周知のとおりです。

それにしても四年の月日は短いようで長いものでした。会長以下事務局のメンバーは過去のノウハウについて分からないことが多く、戸惑うことが多々ありました。従って当日を迎えるまで会員の皆様には様々な面でご心配やご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫び申し上げます。しかしながら、当日は多くの皆様方から励ましの言葉やねぎらいの言葉を頂戴いたしました。皆様方の温かい気持ちに心なやみました。そして待ちに待った大懇親会。会場に響き渡る夕陽讃歌、会場のあちらこちらで起こる笑い声、懐かしい学生時代の話の数々……。

今思い返してみても四年ぶりに開催して、会員の絆を再び確かめることができたのではないかと思います。と同時に来年はさらに同窓の絆を深めるため、今年度の運営を振り返りつつ、前に進まなければならぬと決意を新たにしているところです。

大懇親会には、ご多用にもかかわらず函館市長にご臨席を賜り、夕陽会に温かいお言葉をいただきました。改めて感謝申し述べたいと思います。

また、北海道教育庁渡島教育局長や函館・渡島各市町の教育委員会教育長はじめ多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。日頃より夕陽会と会員にお力添えをいただいていることに重ねて感謝申し上げます。

この度の大懇親会は二百名という制限を設け、ご案内をいたしました。コロナ禍明けの初年度であること、まだまだ感染に対して慎重でなければならぬこと、ホテルとの協議の上などからそのような対応いたしました。そのことで出席の意思がありながら躊躇した方々もいらしたかと察します。たいへん申し訳ございませんでした。来年は制限を掛けずに多くの皆様が集集できるようにするのでは、と思っております。

さて総会・大懇親会に先だって、これまた四年ぶりにホテルでの全国支部長会議も開催することができました。テーブルを口の字型にし、支部長の皆様と対面で実施してみても、やはり顔を合わせて話を聞くことができよかったです。コロナ禍での活動制限・自粛、会員の減少など本部夕陽会同様どの支部も抱えている課題は同じですが、それぞれの支部が工夫しながら夕陽会に想いを馳せ、運営していることに心より敬意を表します。

各支部も四年ぶりに総会・懇親会・研修会等を再開するところが増えてきました。引き続き各支部におかれましては本部夕陽会にご理解とご協力よろしくお願いいたします。

顧問・参与会

令和五年六月十七日(土)、亀田交流プラザにおいて本部役員会に引き続き、顧問・参与会が開催されました。当日は、藤川顧問をはじめ、大先輩の参与の皆さんに出席いただきました。

風間会長の挨拶の後、議長に伊藤副会長が選出され、総会議案について意見をいただきました。参与に対して「頼れる夕陽会」を目指して、役員と顧問・参与がたくさん話せる場を設けることが必要であり、そのためにも顧問・参与会のあり方を検討していく必要があるのではないかと、という助言もいただきました。

全国支部長会議

令和五年七月一日(土)、函館国際ホテルにおいて四年ぶりの参集型となる全国支部長会議が開催されました。会議には、二十名の支部長の皆さんに参加いただきました。



全国支部長会議

栗田副会長と田村副会長が議長に選出され、総会の議案及び運営について話し合われました。その後、各部からの連絡・依頼事項についての説明が行われました。会議の最後に、各支部から活動状況についての報告がありました。会員数の減少傾向が続いていること、コロナが五類にはなったが、依然として一部活動が制限されていることなど、共通の課題が報告されました。各支部とも会員や若手会員に声を掛けるなど努力を重ねている支部が多いことがわかりました。また、支部活動が困難な状況にあっても、オンライン活用により交流会・研修会を実施するなど、それぞれの支部の工夫についても交流することができました。その中で、地域のリーダーとなる人材育成のために、各支部がそれぞれの特長を生かして取り組みを重ねていくことを報告の中から確認することができました。

本部総会

全国支部長会議終了後、函館国際ホテルを会場に四年ぶりの参集型となる令和五年度本部総会が開催されました。審議に先立ち、夕陽讃歌を合唱し、風間会長から「四年ぶりに参集型の総会を開催することができ、役員一部改選や、コロナ五類移行に伴い、人とのつながりを大切に、今後の夕陽会について提案もさせていただきますので、慎重な審議をお願いしたい。さらに、人数制限を設けたが大懇親会を実施できることを喜ばしく思う。」との挨拶がありました。

次に、議長として小嶋範彦支部長(日高)、有村宏紀支部長(空知)、藤井浩之支部長(高等学校)、本部役員選考委員及び議事録署名人、記録者をそれぞれ選出して議事に入りました。

報告事項では、新田幹事長が令和四年度の会務・事業報告を行いました。その後、澤田財政部長代行による令和四年度会計決算報告、門脇監査による令和四年度会計監査報告が行われました。

続いて、風間会長から本年三月の卒業・修了者の就職状況は、約六割

が民間企業、公務員と教員がそれぞれ約二割であり、職種も勤務地も多様化しているとの説明がありました。また、昨年度に引き続き、学生の夕陽会に対する意識啓発を図るため、教員採用にかかわる支援をはじめ、コロナ禍で困窮する学生への生活支援物資の配布、研究・文化・スポーツ活動で顕著な成果を上げた学生の表彰等に取り組んでいることが報告されました。

協議事項では、新田幹事長から令和五年度運営方針・推進事項、事業計画が提案。その後、澤田財政部長代行が令和五年度会計予算案について説明しました。次に、役員選考委員長の佐藤君博支部長(渡島)から、選考結果についての提案がありました。なお、報告事項と協議事項については、いずれも満場の拍手をもって承認されました。

推進事項(□は重点事項)

- ①組織強化と運営の効率化
  - 支部、ブロック、部会活動の活性化と本部との連携
- ②人材の育成
  - 多種多様な体場の会員を結び、会員相互が交流・連携できる場や機会の工夫

大懇親会

於 函館国際ホテル

# 令和5年度 夕陽会総会

令和5年7月1日(土)

## 夕陽会総会・大懇親会



総会

### 令和五年度 本部役員(総会選出)

◎は新任

- 会長 風間 和夫(昭和57年卒)
- 副会長 伊藤 皓嗣(昭和44年卒)
- 副会長 西谷 文子(昭和44年卒)
- 副会長 島津 彰(昭和48年卒)
- 副会長 竹鼻 洋文(昭和49年卒)
- 副会長 栗田 俊一(昭和53年卒)
- 副会長 田村 宏美(昭和58年卒)
- 副会長 寺本 公彦(昭和62年卒)
- 副会長 長谷川秀雄(昭和62年卒)
- 副会長 後藤 正弘(昭和62年卒)
- 副会長 谷口 光伸(昭和62年卒)
- 副会長 藤井 浩之(昭和63年卒)
- 監査 近藤 健(昭和41年卒)
- 監査 門脇 正和(昭和42年卒)
- 監査 林 敏雄(昭和55年卒)
- 幹事長 新田 英樹(平成4年卒)
- 副幹事長 藤谷 貴代(平成29年院)
- 副幹事長 宮下 知子(平成4年卒)
- 副幹事長 黒田 諭(平成5年卒)

## 大懇親会

～四年ぶりの開催～

コロナが五類に変更されたことに伴い人数制限を設けましたが、四年ぶりに大懇親会を開催することができました。開会に先立ち副会長の先導によりご来賓の方々が入場し、会場には大きな拍手が鳴り響きました。

藤谷貴代副幹事長の進行のもと寺本公彦副会長が開会を宣言し、令和五年度の大懇親会の宴が始まりました。「夕陽讃歌」の斉唱では四年ぶりの斉唱ということもあり、参加者全員が母校に対する思いを込めた「夕陽讃歌」となりました。

会長挨拶で、風間和夫会長は、「四年ぶりに大懇親会を開催できたことに対する会員皆様のご協力へのお謝辞がありました。さらに、コロナ禍においても検討を進めてきた「令和の夕陽会を考える会」に端を発した取組の成果や今後の夕陽会に対する変わらぬ協力の呼びかけがありました。

ご来賓挨拶で、函館市長大泉潤様からは、教育の今日的課題の解決に向け、日頃から努力している夕陽会会員への感謝と今後ますますの発展を願う激励の言葉をいただきました。次に、北海道教育庁渡島教育局長山下幹雄氏による祝杯のご発声で祝宴が幕を開けました。

再開の大懇親会においても座席は卒業年次ごとで、会場内は、互いに若き日の記憶をよみがえらせ、旧交を温め合いながら、青春時代にもどったように語り合う姿が見られました。夕陽会大懇親会ならではの熱気に満ちあふれる雰囲気になりました。

閉会が近づく中、トリを飾る寮歌の大合唱が始まります。恒例の小林周次先生(昭和三十三年卒)が、「夕陽」の法被姿で登壇すると、会場の雰囲気は更に盛り上がりました。引き続き、小林周次先生の音頭で母校に対する思いを込めた歌声が会場全体に響き渡りました。

余韻覚めやらぬ中、乾杯の時間となり、函館市教育委員会教育長藤井壽夫氏が乾杯の音頭を取り、宴は再開になりました。

最後に後藤正弘副会長が開会を宣言し、副会長の先導でご来賓の方々が出場され、本年度の夕陽会大懇親会も大盛会のうちに終了しました。

令和六年度も六月二十九日(土)に、函館国際ホテルにおいて夕陽会本部総会ならびに大懇親会を開催する予定です。多くの会員諸氏がごぞつて集い、同窓の輪を広げられるようご協力をお願いします。

## 夕陽会総会



大懇親会

# 夕陽会運営方針並びに推進事項

令和五年度

## 《運営方針》

「創造し行動する夕陽会」をモットーに、会員一人一人に活力と潤いをもたらす運営の充実と活動の活性化を図り、次の各事項の進化拡充に努める。

## 《推進事項》

- 組織強化と運営の効率化**  
会員相互の連携を重視し、各界会員の組織化と会運営の効率化を図る。
  - 多くの同窓生が集うための広報活動や組織拡充の取組
  - 支部、ブロック、部会活動の活性化と本部との連携(重点事項)
  - 会社員・公務員会員の組織化の推進(重点事項)
  - 若手会員の運営への積極的な参画
  - 夕陽会報235、236号の発行
- 人材の育成**  
人材の発掘と会員の資質・地位の向上を図る。
  - 多種多様な立場の会員を結び、会員相互が交流・連携できる場や機会の工夫(重点事項)
  - 地域の教育・文化の振興をリードする会員の発掘と育成
  - 民間企業、地方公共団体に努める若手会員の中核となる人材の育成(重点事項)
- 財政の効率的な運用と業務の見直し・効率化**  
「つなぎ」、「集う」視点から、諸事業の再構築と財政の効率的な運用に努める。
  - 財政基盤の中・長期的な整備策の実施
  - 本部役員の職務の明確化と専門部、諸業務、諸事業の見直し
- 各支部と連携した諸会費の納入への取組**
  - 地域や職種における会員の多様化に対応できる納入方法の検討(重点事項)
- 研究・研修、文化事業の奨励**  
会員による個人及び共同の研究・研修等を奨励し、明日の夕陽を担う会員等の研究・研修意欲の高揚を図る。
  - 研究・研修助成並びに研究内容の紹介
  - 各支部の研究活動等の支援
  - 「若手枠」の活用による夕陽会の明日を担う若手の育成
  - 会員と母校学生による協働活動の奨励(重点事項)
- 母校への支援と地域への貢献**  
母校の継続と発展を願い、現役学生の支援を行う。
  - 母校の就職対策関係事業及び教授対策関係事業への支援
  - 学生に対する同窓会意識の啓発と勧誘活動の工夫(重点事項)
  - 大学の地域連携・社会貢献への協力・支援
  - 学生の生活、スポーツ・文化・芸術活動への支援(重点事項)
- 夕陽記念館(北方教育資料館)の整備・活用**  
記念資料等の収集と適切な保存展示、活用に努める。
  - 会員の作品、記念資料などの収集と会報やWebページ等での周知
  - 夕陽記念館内外の環境整備、陳列品の整備
  - 夕陽記念館の教育活用、学生・地域住民への開放(重点事項)

## 夕陽会本部 事務局業務分担

### 庶務部

- 宮下 知子(附属特支副校長)
- 藤谷 貴代(八雲町立浜松小論)
- 1 諸会議(含懇親会)の諸準備及び進行、記録
- 2 文書の收受、発送及び保管
- 3 会員の慶弔事務
- 4 その他、庶務に関する事

### 財政部

澤田 仁志(知内小頭)

- 運営会費の徴収、支出事務
- 基本金及び特別会計の徴収、支出事務
- 予算書、決算書の作成
- 前納会員に関する事務
- その他、財政に関する事

### 組織部

黒田 諭(附属中副校長)

- 支部組織の編成と組織強化対策
- 会員の動向調査(支部別、校種別会員名簿)
- 支部役員名簿の作成、会員名簿の作成にかかわる資料の収集
- その他、組織全体に関する事

### 情宣部

近江 辰仁(桔梗小長)

- 「夕陽会報」の発行
- 夕陽会ホームページの作成とその管理
- その他、情宣に関する事

### 文化部

仲井 靖典(本通中長)

- 会員の文化活動に対する支援
- 夕陽掲示コーナーの設置、管理
- 会員の作品及び記念資料の収集
- 文化事業の検討、企画
- その他、文化に関する事

### 研修部

高橋 吉隆(あさひ小長)

- 会員の個人及び共同研究への助成
- 支部ブロックにおける研修活動に対する支援
- 講演会等の企画、開催
- その他、研修に関する事

### 学生支援部

寺崎 歩(樞法華小長)

- 学生支援事業の企画、実施
- 学生参画による夕陽記念館の整備、活用
- その他、学生生活、各種活動の支援に関する事



令和五年度支部役員名簿

副長 笹佐木	会幹副副長 木佐長	会幹副副長 熊秋野	会幹副副長 飯三野	会幹副副長 佐奥清成	会幹副副長 清成清	会幹副副長 山伏岡堀	会幹副副長 加水若	会幹副副長 原丸五中	会幹副副長 轟逢	会幹副副長 池松坂佐石	会幹副副長 佐佐工橋小	会幹副副長 野々藤本松	会幹副副長 野々藤本松																								
木藤原	藤尾倉	葉村田	宮野	藤野杉田	水田	田間田	藤口林	田岡嵐村	木坂	本見藤山	野々木	野々木	野々木																								
由香子	秀聰	一良	雅雅	幸清陽	佳孝	晃公貴	智広正	益哲和	耕俊	宏明雅	浩雅真	隆裕	隆裕																								
昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363	昭昭6363																								
上ノ国町	厚沢部町	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市	留萌市																								
河北小長	館小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長	緑丘小長																								
副副長 古打丸	会幹副副長 阿阿野	会幹副副長 白田	会幹副副長 穴永太	会幹副副長 川山栗	会幹副副長 森下	会幹副副長 石郷岡	会幹副副長 川小嶋	会幹副副長 加花瀧	会幹副副長 後久野	会幹副副長 大袖湊	会幹副副長 山有	会幹副副長 細田近	会幹副副長 佐々木	会幹副副長 足山間	会幹副副長 金佐藤	会幹副副長 荒谷																					
森川山	部部田	井崎	戸田	原田	原下	岩郷岡	野嶋	藤田澤	藤葉崎	島野	中村	川上江	上木	立本瀬	龍君	真優																					
康真由	邦邦哲	正博	文征	千知賢	寛	元	靖範	恭啓義	敏忠	惠実秀	晴宏	真辰直	理	雅公龍	君	真優																					
昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262	昭昭26262																				
中標津町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町	別海町																				
中標津東小長	野付小長	上春別中長	武佐小長	武佐小長	茶路小長	音別中長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長	共栄小長																				
幹代 石田	会幹副副長 中橋	会幹副副長 大森	会幹副副長 山口	会幹副副長 生木	会幹副副長 松	会幹副副長 坂瀨	会幹副副長 佐々木	会幹副副長 佐々木	会幹副副長 木修	会幹副副長 矢野	会幹副副長 川村	会幹副副長 湯丸	会幹副副長 黒丸	会幹副副長 原下	会幹副副長 宮中	会幹副副長 北野	会幹副副長 吉富	会幹副副長 久富	会幹副副長 酒井	会幹副副長 三井	会幹副副長 大柳	会幹副副長 扇松	会幹副副長 水松	会幹副副長 清水	会幹副副長 江尻	会幹副副長 須藤	会幹副副長 藤井	会幹副副長 齊藤	会幹副副長 吉村	会幹副副長 二神	会幹副副長 網走	会幹副副長 吉田	会幹副副長 今井				
恒久	さやか	孝志	弘子	明介	稔	樹行	栄治	栄治	栄治	光浩	秀樹	秀樹	秀樹	秀樹	知由紀	公隆	宏規	弘美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美	和美
昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555	昭昭5555
日野市	千代田区	花巻市	花巻市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市	盛岡市
参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	参議院議員内閣府副長官	

# 令和4年度 夕陽会本部会計決算報告 (1)

(令4. 5. 3~5. 5. 1)

## 1 通常会費会計

(単位：円)

収入総額	支出総額	差引残額
7,604,379	3,958,658	3,645,721

### (収入内訳)

項目	予算額	決算額	比較	備考
会費	3,620,000	3,556,000	△ 64,000	・1,430人(道外2,000円@38名分含)で計算
雑収入	10	17	7	・利子(17円)
繰越金	4,048,362	4,048,362		
計	7,668,372	7,604,379	△ 63,993	

### (支出内訳)

項目	予算額	決算額	比較	備考
事業費	5,200,000	2,272,247	△2,927,753	各種事業 会員名簿積立(60万) 研究及び研修補助 学生表彰 その他
補助費	650,000	309,845	△ 340,155	支部・支会総会 同期会・研究室総会等 御祝 指導主事等会 ブロック会議 その他
会合費	260,000	132,197	△ 127,803	全国支部長会議 役員会 その他
旅費	1,000,000	529,340	△ 470,660	全国支部長会議 役員会 支部及び支会総会 その他
事務費	500,000	683,694	183,694	電話代 郵送費 印刷費 事務用紙 HP運用費用 その他
慶弔費	25,000	17,325	△ 7,675	祝電 その他 ※前納会員の慶弔費は益金から支出
雑費	20,000	0	△ 20,000	茶菓 その他
予備費	13,372	14,010	638	予備
計	7,668,372	3,958,658	△3,709,714	

上記の各項の監査を遂げ、その正確なことを証明する。

令和5年5月26日

会計監査

近藤 健  
門脇 正和  
林 敏雄

# 令和4年度 夕陽会本部会計決算報告 (2)

## 2 基本金会計

(単位：円)

収入総額	支出総額	差引残額
38,968,667	1,828,387	37,140,280

### 〈決算の内訳〉

項目	元金の部		益金の部	
収入	24,044,702		14,923,965	
内訳	公募公債	22,000,000	繰越金	875,855
	繰越金	1,354,675	みずほ信託銀行満期	13,000,552
	借入金	0	元金より	1,000,000
	前納会費 (23名分)	690,000	本年度利子	47,558
	受取利子	27	(貸付信託)	(47,472)
			(銀行利子)	(86)
支出	1,007,967		820,420	
内訳	振込手数料	7,967	前納会員記念品送料他	2,940
	益金へ	1,000,000	前納会員慶弔費他	287,915
	通常会費会計へ(会費縮減の緩和措置)	0	会報印刷代	263,890
			会報送料	265,675
			会員名簿印刷代・送料	0
差引残額	23,036,735		14,103,545	

### 〈公募公債状況〉

	金額	名称	償還・満期日
みずほ信託銀行	13,000,000	大口定期預金	2022/6/5 (R4) →2022/6/6 益金へ
野村證券	5,000,000	札幌市平成29年度第3回公募公債	2027/6/18 (R9)
	4,000,000	北海道平成29年度第5回公募公債	2027/6/30 (R9)
	8,000,000	北海道平成29年度第15回公募公債	2028/2/28 (R10)
三菱UFJ証券	5,000,000	第11回三菱ファイナンシャルグループ	2026/7/29 (R8)
合計	35,000,000		

※償還・満期日は証書記載の元号による。

上記の各項の監査を遂げ、その正確なことを証明する。

令和5年5月26日

会計監査

近藤 健  
門脇 正和  
林 敏雄



# 令和4年度 夕陽会本部会計決算報告 (3)

## 3 学生支援金会計

収入総額	支出総額	差引残額
2,382,605	1,193,523	1,189,082

### (1) 収入内訳

項目	金額	備考
寄附金	1,140,000	2,000×470人 安島様(10万円) 渡辺様(10万円)
雑収入	6	利子6
繰越金	1,242,599	管理職特別会計残金
計	2,382,605	

### (2) 支出内訳

項目	金額	備考
支援物資関連	930,084	物資 作業費 交通費 その他
助成費	240,000	吹奏楽団 地域づくり支援実習
学生支援部助成費	23,439	その他
計	1,193,523	

上記の各項の監査を遂げ、その正確なことを証明する。

令和5年5月26日

会計監査

近藤 藤 健  
門 脇 正  
杯 敏 和  
雄

# 令和5年度 夕陽会本部会計予算

## 1 通常会費会計

一人年間 2,500円

(単位：円)

項目	令和4年度 予算額	令和5年度 予算額	比較	備考
----	--------------	--------------	----	----

### (1) 収入内訳

会費	3,620,000	3,330,000	△ 290,000	会員数1,340名（内道外40名）で計算
雑収入	10	17	7	利子 など
繰越金	4,048,362	3,645,721	△ 402,641	
計	7,668,372	6,975,738	△ 692,634	

### (2) 支出内訳

事業費	5,200,000	4,500,000	△ 700,000	各種事業 会報発行・発送 研修補助 名簿積立(60万) 学生表彰 その他
補助費	650,000	650,000	0	支部・支会総会 同期会・研究室総会等 御祝儀 指導主事等会 ブロック会議 その他
会合費	260,000	260,000	0	全国支部長会議 役員会 その他
旅費	1,000,000	1,000,000	0	全国支部長会議 役員会 支部及び支会総会 その他
事務費	500,000	500,000	0	電話代 郵送費 印刷費 事務用紙 HP運用費用 その他
慶弔費	25,000	25,000	0	祝電 その他 ※前納会員の慶弔費は益金から支出
雑費	20,000	20,000	0	茶菓 その他
予備費	13,372	20,738	7,366	予備
計	7,668,372	6,975,738	△ 692,634	

## 令和5年度 夕陽会事業計画

月	事業等	諸会議	事務局	ブロック・支部関係
R5 4月	・キャンパス長との懇談			
5月		・監査 (26)	・総会等の準備 (庶) ・名簿作成準備 (組)	
6月		・第2回本部役員会 (9) ・第3回本部役員会 (17) ・顧問・参与会 (17)		
7月	・教採2次対策講座 ・夕陽教育フォーラム	・全国支部長会議、総会、 懇親会 (1)	・管理職・行政職等名簿発行 (組) ・支部役員名簿発行 (組)	
8月			・「学生応援基金」依頼文書等の発送	
9月	※五校同窓会長等会議 (釧路開催)			
10月	・キャンパス長との懇談	・会社員、公務員部会懇親会	・会費等納入促進(組・財)	・道央ブロック会議
11月	・指導主事等会学習会	・第1回本部役員会		・道東ブロック会議 ・道北ブロック会議
12月	・学長との懇談	・会報第235号発行 (情)	・会費等納入促進 (組・財)	
R6 1月				
2月	・道教育長と5校同窓会長との懇談		・会費等納入促進 (組・財)	
3月	・函館校卒業式 ・学生表彰	・第2回本部役員会(予定)	・入会手続き (庶・組) ・会報第236号発行 (情)	
4月	・合同入学式			
5月		・監査 ・第3回本部役員会(予定)	・総会等の準備 (庶)	
6月		・顧問・参与会 ・全国支部長会議、総会、 懇親会 (29)	・支部役員名簿発行 (組) ・管理職・行政職等名簿発行 (組)	
日常 業務	・大学・学生支援	・事務局会議 (毎月) ・事務局各部会	・慶弔関係 (庶) ・前納会員手続き (財) ・Webページの更新 (情) ・研究助成 (研) ・夕陽掲示コーナー (文)	・支部総会・懇親会 ・支部研修会等

令和6年度 本部総会・大懇親会・全国支部長会議  
令和6年6月29日(土) 函館国際ホテル ※詳細は次号でお知らせします

就任のご挨拶

夕陽の心を新時代につなぐ



副会長 竹鼻洋文 (昭和49年卒)

この度はご縁があり、副会長の任を担わせていただくことになりました。職責の重さを真摯に受け止めその役割を果たして参ります。

私は、卒業後、後志と渡島の中学校に勤務し、一旦教職を離れて再び学校現場に復帰、その後、また教育行政の仕事で四つの管内で勤務しました。土地勘のない環境の中で同窓の方々とお会いした時は大きな安堵を覚えたものです。集まりのたびに会旗を掲げ、高揚する心のまま夕陽讃歌を歌いました。遠く故郷を離れた地にあつてひとしおの感慨がありました。定例の会合では本部から幹部

の方々を遠路駆け付けては激励の声をかけてくださいました。

顧みれば、その時々と同窓の方々には有形無形の力を与えていただきました。感謝しかありません。

母校は、平成以降、幾度かの「再編」を経て、卒業生の進路は大きく様変わりしました。今後も、職域から見た会員構成が多様化していくのは必定です。後輩の皆さんが、どの地での職業に就いたとしても、母校の原点である「開拓者精神」が時代を超えて一人一人の心の中に引き継がれ、大きく花開いていくことを念じ、会務に当たって参ります。



就任にあたって

副会長 寺本公彦 (昭和62年卒 函館市立八幡小学校長)

この度、函館市小学校長会を代表し、夕陽会副会長という大役を仰せつかり、その任の重さに身の引き締まる思いしております。風間会長をはじめ、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、微力ながら任を務めさせていただきます。

私は、昭和六十二年三月に母校を卒業し、砂原町(現森町)・上磯町(現北斗市)・函館市の小学校で勤務してまいりました。どの地においても夕陽会の諸先輩からのご指導、年代を超えた同窓の温かさを実感させ

ていただきました。夕陽の先輩に支えられ、今の自分があるのだと感じているところです。微力ですが、これまでお世話になった方々へ少しでも恩返しができるよう努めてまいります。

皆様のご指導とご支援を賜りながら、会員相互の親睦と発展、教育・文化の創造と振興に寄与できるように奮闘しながら、職務にあたらせていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



就任にあたって

副会長 長谷川秀雄 (昭和62年卒 函館市立桔梗中学校長)

この度、函館市中学校長会を代表しまして夕陽会副会長を仰せつかりました。昨年度までは、学生支援部を担当させていただきましたが、副会長という任の重い大役に身の引き締まる思いであります。風間会長をはじめ、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、務めて参りたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

私は、昭和六十二年卒業後、置戸町立置戸中学校(網走管内)を振り出し、その後は渡島管内および函館市内の中学校に勤務してまいりました。どの地においても、夕陽会の諸先輩方から温かいご指導やご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

特に、初任地の網走管内では、同じ学年団に夕陽の先輩がおり、たいへん心強かったことを思い出します。また、長万部中学校に赴任した折には、天野哲征前副会長に温かく迎えていただきました。その後の苦難も幾度となく支えていただくなど、同窓の絆、つながりのありがたさを痛感しています。これまで教員生活を続けることができたのも、同窓の皆様のおかげがあったからこそ、と強く感じております。

就任にあたって

副会長 後藤正弘 (昭和62年卒 北斗市立大野中学校長)



この度、渡島小中学校長会を代表しまして、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。この任の重さに身の引き締まる思いです。風間会長を始め、役員の皆様のご指導を仰ぎながら、夕陽会の充実・発展のため精一杯務めさせていただきます。

私は、昭和六十二年卒業、翌年網走管内女満別町(現大空町)立豊住中学校に赴任、北見市立北光中学校、津別町立津別中学校とオホーツク管内で三校十五年、渡島管内へ異動となり二十年勤務してまいりました。思い起こすと、初任校には夕陽の先輩が在任しており、校地内にある教員住宅に毎週のようにお邪魔し、公私ともに温かいご指導とご支援を賜

りました。渡島への異動の折も夕陽の諸先輩のお力添えをいただき深く感謝いたします。

渡島に戻つてくると、どの職場にも夕陽の先輩や仲間がおり、支えてもらい、共に学び、今の自分へと導いていただくと感謝しております。

母校は変遷し、以前のように多くの教員を輩出する学舎ではなく、なりました。しかし、教職以外の世界へ羽ばたく夕陽の仲間こそが多様化を推し進め、魅力ある組織へと変革させる鍵なのではないかと期待しています。持続可能な活力ある夕陽会を目指し微力ではありますが、職務に当たらせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



### 就任にあたって

函館市支部長 佐々木 理之  
(昭和63年卒 函館市立五稜郭中学校長)

四月二十二日、母校第十四番講義室において開催されました夕陽會函館市支部総会におきまして、田湯義浩前支部長の後任として、その大役を仰せつかりました。夕陽會本部のお膝元である代表支部としての役割の重たさを実感しているところでございます。

今年度、風間会長の号令の下、実に四年ぶりに「北海道教育大学夕陽會大懇親會」を開催する運びとなりました。「本部との連携」、「会員親睦の充実」は、業務のスリム化に取り組んでいる函館市支部にあっても重点的な推進事項であり、微力ながらバックアップさせていただき

とができました。

七月一日に行われました全国支部長會議に参加させていただきました。会の組織力、結束力の強さを再認識しました。また、引き続き行われた総会・大懇親會では、久しぶりの再會を喜ぶ夕陽會員の皆さんの笑顔の花が咲き誇り、改めて同窓の絆を感じることもできました。

一方、母校卒業生のうち教員になる学生の割合が二割を切る現状のなかで、これからの夕陽會をどう育てていくのか。地元の代表支部としても知恵を出し合い、行動していきたくと思います。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



### 就任にあたって

代表支部長(渡島) 佐藤 君博  
(昭和62年卒 鹿部町立鹿部小学校長)

このたび、夕陽會渡島支部を代表いたしました。夕陽會渡島支部長という大役を仰せつかりました。風間会長をはじめ、役員の皆様のご指導を賜りながら、夕陽會の充実・発展のために精一杯努めてまいり所存です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私は、昭和六十二年に母校を卒業し、昭和六十三年別海町立西春別中学校に採用され七年間根室管内で、その後渡島管内で二十七年間、函館市で二年間勤務してまいりました。どの地におきましても夕陽會の諸先輩からのご指導、温かいご支援をい

ただき、心から感謝申し上げます。

年齢を重ねるごとに同窓への思いも深まり、つながりの重さを感じるようになりました。今日このように教員生活を続けてこられているのも夕陽會の皆様のおかげであってこそ、と強く実感します。

このたびの就任を機に、微力ながら、夕陽會発展に寄与するように職務にあたらせていただくとともに、これまでご指導ご助言いただいた諸先輩方、お世話になった方々への恩返しができるよう頑張つてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



### 就任に当たって

副幹事長 藤谷 貴代  
(平成29年院卒 八雲町立浜松小学校教諭)

このたびの総会におきまして、副幹事長(庶務部長)を仰せつかりました。伝統ある夕陽會において甚だ微力ではございますが、会のより一層の発展のために、粉骨砕身努力していく所存でございます。

私は、平成三年四月より渡島管内藤岱小学校に赴任いたしました。ここでは、多くの夕陽會出身の先輩から御指導・御鞭撻を受け、教員のありべき姿を学ぶことができました。そして、いつの日か、自分が受けたご恩をお返しすることができたら、と常々思つておりました。

教育大学大学院へ入学し、多くの学びを得ることができました。大学院を修了後、夕陽會の会員として皆様に迎えていただいた時も、多くの温かい言葉を頂き、大変感激しました。

私が、教員として今日まで頑張つてこられたのも、皆様のやさしさのおかげと感謝しております。このご恩を、お返しできるような、そしてこの素晴らしい縁を後世の若者につなげられるように、頑張つていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。





《一般会務》

- 3/16 北海道教育大学学位修了式  
へ天野副会長・伊藤副会長・西谷副会長が出席する
- 4/4 北海道教育大学函館校入学式へ風間会長・天野副会長が出席する (大学)
- 4/22 函館市支部総会へ風間会長・新田幹事長が出席する (市民会館大ホール)
- 5/4 石狩支部総会が実施される (大学)
- 5/13 小樽支部総会へ風間会長が出席する (ニュー三幸)
- 5/20 檜山支部総会が開催される (ホテルニュー江差)
- 5/26 後志夕陽会総会へ風間会長が出席する (ホテル第一会館)
- 6/9 会計監査が行われる (附属函館小)
- 6/10 第2回役員会が開催される (亀田交流プラザ)
- 6/17 釧路支部総会・懇親会へ風間会長が出席する (レストラン泉屋本店)
- 6/17 第3回役員会が開催される (亀田交流プラザ)
- 6/18 顧問・参与会が開催される (亀田交流プラザ)
- 7/1 北海道中学校陸上競技大会標準記録突破大会のリリース表彰授与式へ佐竹総務が出席する (北斗市運動公園陸上競技場)
- 7/1 全国支部長会議・総会・大

- 7/15 懇親会が開催される (函館国際ホテル)
- 7/21 空知支部教育講演会へ風間会長・北海道立教育研究所人材育成部 研究主幹 黒範和氏が出席する
- 7/23 夕陽フォーラムへ新田幹事長・宮下副幹事長・黒田副幹事長が講師として出席する (大学)
- 9/1 明日の教師養成塾へ附属学校職員が面接指導講師として出席する (大学)
- 9/1 教育実習生対象に支援としてQUOカードを配付する (各実習校)
- 9/9 北海道教育大学同窓会会長・理事長 (専務理事・幹事長) 会議に風間会長・新田幹事長が出席する
- 9/23 北海道教育大学岩見沢校・北海道教育大学青陵会「創立百周年を祝う会」記念式典並びに祝賀会に風間会長が出席する (釧路センチュリーキャッスルホテル)
- 9/24 北海道教育大学旭川校百周年記念式典に風間会長が出席する (アートホテル旭川)
- 9/28 蛇穴治夫学長「退任慰労会」へ風間会長が出席する (札幌グランドホテル)
- 9/30 岩手支部盛岡集會総会に風間会長が出席する (サンセール盛岡)
- 10/8 海峽クラブ総会・懇親会へ風間会長が出席する (ホテルテトラ)
- 10/14 道央ブロック会議へ風間会長が出席する (ホテル第一会館)
- 10/28 道南地区六稜会 会員懇親会へ風間会長が出席する (ホテル法華クラブ)
- (令和5年10月末日現在)

受賞(章)おめでとうございます

★瑞宝双光章 (高齢者叙勲1/1)  
加藤 卓司氏 昭32年I卒  
函館市宮前町二二の一五

★瑞宝双光章 (高齢者叙勲4/1)  
長澤 三郎氏 昭30年II卒  
函館市五稜郭町三の七

★瑞宝双光章 (春の叙勲4/29)  
渡利 正義氏 昭39年I卒  
函館市中道二の二の一八

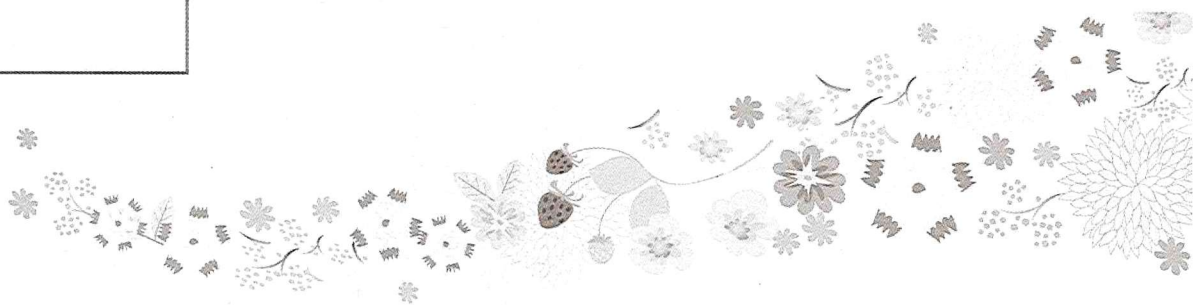
★瑞宝双光章 (春の叙勲4/29)  
岩上 猛氏 昭42年卒  
七飯町東大沼三九七の二一

★瑞宝双光章 (高齢者叙勲6/1)  
宮下 敏氏 昭35年I卒  
北斗市常盤一の一六の一七

★瑞宝双光章 (高齢者叙勲9/1)  
半田 祐一氏 昭33年I卒  
函館市桔梗町五二の四三

ご就任おめでとうございます

★内閣官房副長官 (令5/9月)  
森屋 宏氏 昭55年卒





### 留萌支部だより

留萌支部長 秋葉良之

(平成元年卒 留萌市立緑丘小学校長)

「北海道の左上」に位置する留萌管内。北は天塩から南は増毛までの一市六町一村で構成されていますが、管内のどこに行っても黄金色に輝く夕陽が水平線に溶け込む美しい景色を見ることができるのが自慢です。新卒間もない頃、仕事終わりに海岸線をドライブするのが楽しみでしたが、茜色に染まる海原を見ると時間がゆっくりと流れているように感じ、いつの間にか心が整えられていたのを思い出します。

こうした豊かな自然が魅力ですが、留萌管内においては少子化の進行は歯止めがきかず、学校の統廃合は加速。今年度の小中学校数は二十六校となり、それに伴い今年度の支部会員数は二十名まで減少しました。このような状況において、他支部のような組織的で活発な取組を進めていくのは難しい面がありますが、支部の活動のコンセプトである「身の丈にあった活動」を小さくともきらりと光る留萌支部」を目指し、本部の皆様や近隣の上川や宗谷支部の方々の心温まる激励の言葉とご助言をいただきながら、支部の運営を進めています。活動の柱は研修と交流。研修では、ミドルリーダーとしての活躍が期待される会員もいることから、本部の支援をいただき、国や道の最新の教育情勢を学び合うようにして

きました。また、年二回懇親会を開催し、函館の思い出や学生生活を振り返る機会を多く取り入れるなど、同窓意識を高める工夫を図りながら活動を進めてきました。

近年「心理的安全性」という言葉が注目されています。組織の中で自分の考えや思いが尊重され、誰に対しても安心して発言できる、そんな職場づくりを構築していくことが、学校管理職に求められています。今、改めて支部の歩みを振り返った時、まさに支部の仲間の集いは心理的安全性の高い交流の場であったと自負しています。普段それぞれの勤務校で抱えている悩みを素直に打ち明け、その解決策をみんな語り合う。いろいろな世代の仲間たちからの励ましをエネルギーに変え、笑顔満開で週明けの仕事に臨む。長く続いたコロナ禍でこうした交流の機会が失われてしまいました。今年度はこのコロナショックから緩やかに立ち直る一年にしたいと考えています。会員数は少ないですが「同窓の絆」を大切に、「心理的安全性」の高い交流を通して、みんなが参加してよかつたと思える活動を着実に前に進めていこうと思っております。今後ともご指導ご支援をよろしくお願いたします。



### 胆振夕陽会だより

胆振夕陽会長 野崎均

(昭和61年卒 登別市立緑陽中学校長)

胆振からは、駒ヶ岳がよく見え、私は室蘭市に住んでいますので、登別市の学校に出退勤する途中で国道36号線（札幌―室蘭を結ぶ国道）を利用するのですが、晴れた日には、夕陽の中、行く手に駒ヶ岳の勇姿を望むことができます。実際にはその間に噴火湾が広がっていますので、かなりの距離をぐるっと巡っていかねば行き着かないのですが、直線距離は結構短いので、山影はとても近くに感じます。まっすぐに進んでいくと、すぐにでもたどり着けそうな、そんな錯覚に陥ります。そしていつも、その山影の向こう側にある函館に思いをはせています。

現在胆振管内には、公立の小学校が七十校、中学校が三十九校、義務教育学校が三校、小中併置校が一校の、計百十三校があり、そこに勤務する百五十名あまりの会員で本会の活動を行っています。今年度は新型コロナウイルスの五類移行に伴い、四年ぶりに会同による総会を行うことができました。基本理念や方針、具体的な取組を確認していくうちに「今年度は本当にできるんだな」という思いで、会全体に安堵感が広がっていました。その会で、一月には胆振夕陽会大懇親会を室蘭市で開催することを決めました。この三年間、直接会って見送ることができなかった先輩方

感謝の意を伝えることが、胆振夕陽としての本格的な再開となると考えました。そして、先輩方のお力をお借りして、会員相互のつながりを再確認していこうと思います。そうすることで、取組ひとつひとつが輝きを増すと考えます。

この三年間、「学び続ける夕陽」の姿勢は、崩すことはありませんでした。「学校経営セミナー」を通して、学校経営上の諸問題の解決する力の育成や、会員の資質の向上を図ってきました。ここが活動の本丸と考えているからです。「会員はもとより、広く他大学卒業業者へも門戸を開き、これからの胆振管内の教育を担う人材の育成を目指す」という考えのもとに進めています。本部で取り組む「令和の夕陽を考える会」の考えを受けて、様々な研修の在り方を模索していこうと考えています。「夕陽会」と検索すると、「思い出の歌」とあり、「寮歌」が再生できます。私は「理想の彼岸に進むべし」というフレーズが好きです。「煽りつ漕ぎつ乗り越えつ」という部分に勇気をいただけてきました。アフター・コロナを迎え、四年ぶりに本格的な活動ができる今、様々な課題を乗り越えていくことのできる夕陽会の一員であるよう、駒ヶ岳を仰ぎながら歩みを止めずに励んでいきます。

支部だより

前納会費納入会員名簿追加分

林敏雄 函館 昭55
一戸裕之 函館 昭58
佐竹聡 函館 昭58
奥崎敏之 函館 昭60
大桃規之 札幌 昭61

夕陽會員訃報

橋場恒雄氏 昭31II
河東郡音更町柳町北区25の53
不明

瀨川久子氏 昭31I
函館市花園町5の17
不明

太田和宏氏 昭38I
白老町日の出町3の5の31
妻加代子氏

島田正氏 昭19
札幌市西区西野7条2の6の5
長男正人氏

高橋信一郎氏 昭43
旭川市東光9条4の3の2
妻悦子氏

渡辺満氏 昭33I
不明

佐々木久康氏 昭29II
函館市駒場町16の1
不明

加藤訓氏 昭34II
虻田郡洞爺湖町泉13の12
妻信子氏

大橋瑞恵氏 昭33II
寿都郡寿都町字渡島町55の3
不明

滝本幸也氏 昭28II
函館市中道2の35の19
妻節子氏

池上伸策氏 昭30I
函館市富岡町1の8の23
妻登子氏

高橋昭五氏 昭36I
東京都足立区西保木間4の12の1の406
不明

木村大輔 札幌 昭61
村元秀之 札幌 昭62
平田新次郎 函館 昭62
伏間公洋 小樽 昭64

若山明久氏 昭33II
七飯町鳴川5の12の6
妻恵子氏

増子信吉氏 昭23
北見市常盤町4の5の13
不明

首藤義美氏 昭36I
七飯町緑町3の9の13
不明

増沢清氏 昭46
上川郡鷹栖町北野東2の1の7の7
不明

新浜詔夫氏 昭42
函館市万代町5の15
長男一氏

信永昭三氏 昭25
函館市旭岡町79の1
長男元久氏

筑田賢次氏 昭29II
函館市中道1の13の13
次男智己氏

櫻庭辰弥氏 昭32II
北斗市東浜2の4の10
妻五百美氏

福田千衣子氏 昭38II
函館市美原4の9の21
不明

伊東義浩氏 昭35I
函館市深堀町38の3
妻久美子氏

池田健悦氏 昭44
函館市八幡町21の14
妻悦子氏

本間峰雄氏 昭31II
函館市宮前町21の6
長男規氏

五十嵐輝男氏 昭44
函館市山の手1の38の1
妻康子氏

笠井敬一氏 昭34I
函館市旭岡町79の1
不明

岡田溪子氏 昭24
函館市上野町6の10(加徳知子)
長男啓氏

白淵伸一氏 昭41I
函館市五稜郭町18の11
妻敬子氏

滝本勝三氏 昭36I
函館市美原2の30の9
妻博子氏

外崎壽雄氏 昭32II
函館市西旭岡1の6の7
妻京子氏

川村孜氏 昭28II
函館市深堀町18の2
妻敬子氏

安住武志氏 昭32II
札幌市清田区真栄3条3の72
妻幸子氏

石垣由美子氏 昭30II
函館市日吉町4の2の28
おい長谷川靖氏

荊部幾郎氏 昭和25
木古内町字木古内207の108
長男礼司氏

須藤康雄氏 昭48
函館市深堀町1の16
妻和子氏

高橋政弘氏 昭53
函館市桔梗町5の13の5
妻恵子氏

白木正氏 昭32I
函館市高丘町44の18
妻麗子氏

阿部和明氏 昭39I
函館市桔梗町59の70
妻貞代氏

編集後記

◆新田幹事長より応援をいただきながら、会報発行に向けて準備を進めて参りました。またご多用の折、ご協力いただきました皆様深く感謝申し上げます。

◆令和五年はコロナ感染症が五類へと移行し日本社会全体が再稼働し、観光都市函館には以前のように多くの人が国内外より訪れるようになりました。

◆世の中が様々な分野において徐々に活気を取り戻してきましたが、今後は地域の隅々までより一層活性化することを期待しています。

◆お陰様で本会も令和五年七月一日(土)に久しぶりに対面による全国支部長会議、並びに本部総会・大懇親会を開催することができました。

◆母校のご厚意により事務室前の玄関ホール掲示板には夕陽会のコーナーが設置され学生の文化・スポーツ活動への支援の様子や会報を掲示し本会の活動の様子を伝えていきます。

◆これからも母校の発展と学生や同窓の皆様のご活躍ご多幸を祈念しながら、夕陽会報第二三五号をお届けいたします。

(情宣部長 近江 辰仁 記 昭63卒)
本部事務局へのご連絡などは、次の所へお願いいたします。

041-0806 函館市美原3丁目48番6号
北海道教育大学附属函館小学校内
夕陽会本部事務局
電話番号(01338)46-2235
夕陽会専用070-85521-9110
FAX番号(01338)47-7376
e-mail:sekiyoukai345520@gmail.com

題字 文化勲章受章者 金子賢蔵(鷗亭)氏(昭4卒)